

山なみはるか

令和5年3月9日

天龍小学校



春はもうどこまで...



3月になりました。日に日に日差しが濃くなり、休み時間サッカーをしている子どもたちの中には、半袖半ズボンの姿も見られるようになりました。「暑い暑い」という声につられて窓を開けると、正面玄関横にある梅の木から香りが漂ってきて、春の到来を告げてくれています。12月に植えたチューリップの球根も元気に芽を出し、来入児の皆さんが来るのを待っているかのようです。

上の写真は今日の体育館です。覆われていたシートと足場が除かれると、子どもたちからは「わーカッコいい!」「色がおしゃれでカフェみたい!」と歓声が上がりました。外観はほぼ完成し、今は内装の最後の工程にかかっているところです。3月25日(土)午後には竣工式が行われ、次の日は内覧会として村内の方々が自由に見学できる時間があるそうです。子どもたちが実際に使えるのは4月6日(木)の入学式からですが、今後小学校のさまざまな活動はもちろん、村内の方々に広く末永く活用していただけるすばらしい体育館となりそうです。

全員でこっそり(?)落書きをしました



去る2月3日(金)、足場やシートがなくなり、体育館の全貌があらわになったころ、神稲建設さんのありがたい計らいによって、体育館北側入り口から入った正面にある壁にメッセージを書く機会をいただきました。写真からもわかるとおり、化粧板を張る前のコンクリートがむき出しになった壁に、子どもたちは将来の夢や村に向けたメッセージ、体育館への思いなどを書いていきました。「ぼくの将来の夢は長きよりランナーです。長きよりランナーにぜったいなります。」「大きな病気にならずけんこうにすごせますように。」「おとなになったらジャムやさんになりたいです。」「コロナがおわりますように」...などなど彼らのメッセージはさまざまです。時を同じくして中学生も同じ場所に書いて、「受験合格しますように」という願い事から、壁を修理(?)する日に向けて「天龍村は今飯田市ですか?」など、これもまた中学生らしいメッセージが出そろいました。この後コンクリートの上には板が張られるため、もう多分何十年も(!)日の目を見ることはありませんが、体育館の入り口から入るたび、自分たちがこっそり書いたメッセージとともに、楽しい小学校での思い出や、これから繰り広げられる体育館でのさまざまな活動を思い出すきっかけになればと思います。



ブッポウソウの巣箱づくり



春の訪れとともに、天龍村にはたくさんの鳥たちがやってきます。天龍小学校では、年間を通してもう20年以上もブッポウソウの保護活動を続けています。4月に入るとすぐ巣箱かけがあるため、その準備として2月24日(金)に、全校で巣箱づくりを行いました。今年初めて挑戦する1年生は5年生と、2年生は4年生とペアを組み、それぞれ事前学習で5年生から教わった順序で組み立てていき



ました。当日は守る会の皆さん、森林組合の皆さん、役場地域振興課の皆さんにもお手伝いいただき、約1時間で各ペア2~4個の巣箱を完成させました。ブッポウソウが住みやすい村になるように、たくさんの巣箱を使ってもらえるようにと願いを込めて、また、4、5年生は、下級生に優しく声をかけ、できることから少しずつ丁寧に教えながら作業を進めていました。今年度の営巣率は50%(他の鳥や動物を含む)。来年度は何個箱を使ってもらえるかな~。

新制児童会、みどりの少年団発足です



成瀬現会長から熊谷新会長へファイルの受け渡し



去る2月8日、来年度児童会発足に向け、児童会長候補者の立ち会い演説会と投票が行われ、新会長には熊谷一輝さん(兼代表生活委員長)が選ばれました。5年生は来年度もう1度最上級生として児童会を運営していきますが、会長、委員長は今回新たに選出されました。今年度は6年生がいないため、「仲よくみんなにっこり天龍小」をスローガンに、慣れない児童会活動を成瀬会長を中心に4人で力を合わせて運営してきました。1年間の活動をとおして

4人は既に実感しているとは思いますが、天龍小の児童会運営には最高学年全員の協力とお互いのフォロー、信頼関係が欠かせません。これは本校の6年生が代々最上級生として行ってきたことです。全校児童が仲よく、明るく学校生活を送ることができるよう、今年度行ってきた活動をもとに、さらにグレードアップした運営を行い、自分たちの成長につなげてほしいと思います。

また、3月6日には、永嶺村長さんをお迎えしてみどりの少年団総会が開かれ、今年度1年の活動の振り返りを行いました。みどりの少年団は「自然を愛し緑を育てる」ことを目標に活動していますが、5年生は発表の中で、「準備や計画の大切さ」「お互いに協力することで活動が上手くいく」「さまざまな活動に支援してくださる村の方々に感謝」など、目標以上の成果を発表していました。

村を知り、村で生きる子どもたちにとってはとても有意義で大切な活動だとあらためて実感しました。この総会の場で、来年度は団長に坂田歩万さん、副団長に熊谷奈菜美さんが発表され、二人のかけ声に合わせて、全員で誓いの言葉を復唱しました。ひとつひとつの行事が、今年度の締めくくりと来年度への準備になっていきます。これを節目に子どもたちはさらに成長していきます。

